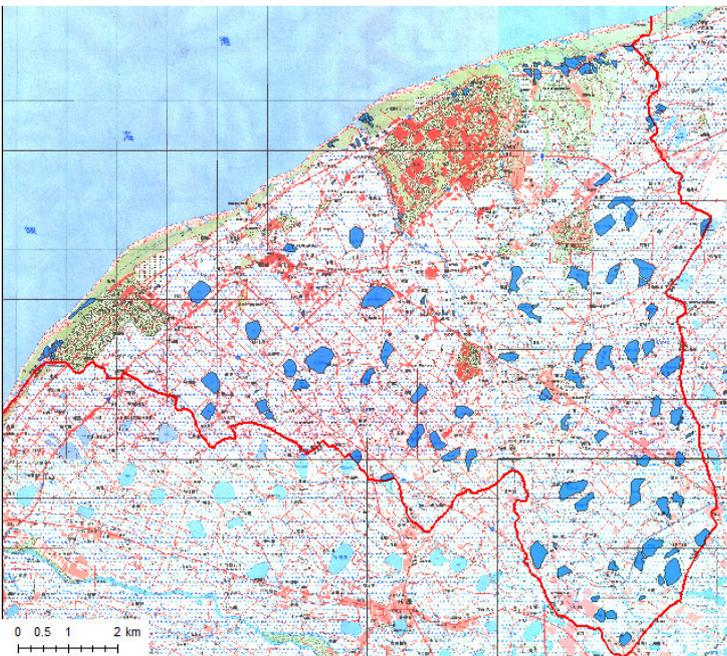
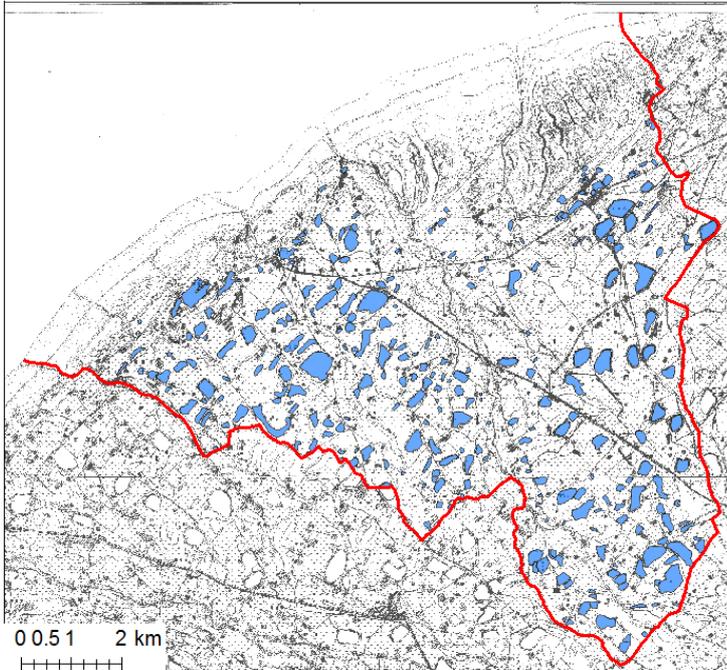


# 外邦図研究 No. 9

## ニューズレター

平成23年度大阪大学文学研究科共同研究経費  
「外邦図とGISを活用した環境変化分析手法に関する研究」報告書



桃園県観音郷のため池の経年変化

これらの図は台湾北西部にある桃園県観音郷について、ArcGISを利用して境界線とため池のポリゴンを製作・表示したものである。上図は1925年頃に陸地測量部によって製作された地形図、下図は2003年に中華国内政部によって製作された経建版と呼ばれる地形図が元図である。観音郷の位置する桃園台地は、ため池の多い地域であったが、1928年に桃園大圳と呼ばれる大規模な灌漑用水路が開さくされ水利の改善がはかられた地域である。ポリゴンの合計面積を計算すると、ため池の面積は781haから470haにまで減少しており、およそ80年間でため池が大きく減少していることがわかる。

### 外邦図研究グループ

大阪大学大学院文学研究科人文地理学教室  
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5  
<http://www.let.osaka-u.ac.jp/geography/gaihouzu/>

2012年3月